

農大だより

発行日:平成25年1月1日
 発行:岐阜県農業大学校
 可児市坂戸938
 Tel:0574-62-1226
 Fax:0574-62-1227

◇目次◇

派遣学習お世話になりました
 プロジェクト学習の成果を報告
 自分の夢を大いに語る
 オーストラリアに行ってきました
 「すご〜い！」先進施設を視察
 大きな農作業機にびっくり！
 農大ブランド紹介
 春里トピックス



派遣学習お世話になりました



派遣学習報告会を11月8,9日に開催し、2学年生31人が受入農家の皆さんの前で学習内容を報告しました。

報告の中で、学生達は「学校では学べない本当の農業の良さや、つらさが分かった」「効率的に仕事をする工夫がわかった」「就農に向けた足がかりができた」「将来に活かしたい」などの感想を述べました。

受入農家からは、「元気な学生が来てくれて刺激になった」「自分の子供のように思えて仕方がない」「将来就農して仲間になってくれることを楽しみにしている」など激励の言葉をいただきました。

農家さんに就職を希望している学生は、就職先の農家さんで派遣学習を行っており、無事に就職内定をいただくことができました。

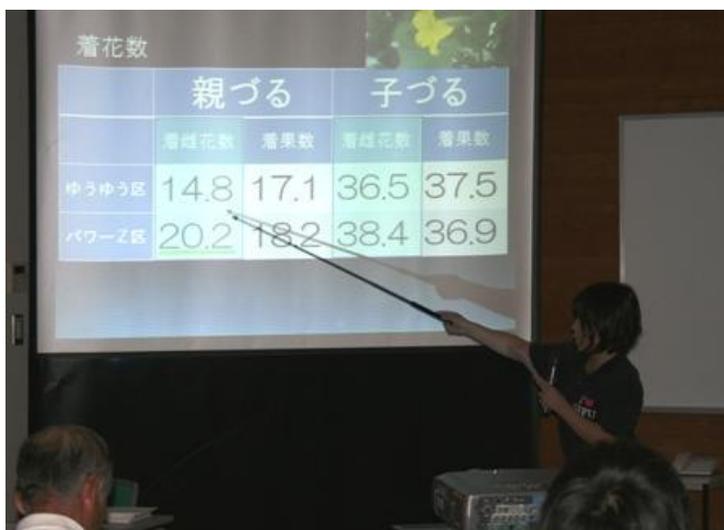
<写真:受入農家さんから激励を受ける春日井>

プロジェクト学習の成果を報告

2学年生がプロジェクト学習の状況を報告するプロジェクト学習中間検討会を9月13,14日に開催しました。

課題は、栽培・飼養管理の問題解決が中心です。学生達は今回の発表会で指摘があった内容をふまえて、卒論を作成していきます。

今回の検討会は、1月に岐阜で開催する東海・近畿ブロック研究発表会の代表選考も兼ねており、野菜・果樹学科 垣根伸一郎が代表に選ばれました。課題名は「硝酸イオン濃度とトマトの生育との関係について」です。



<写真:説明する平岡>



<写真:質問を受ける吉本>

自分の夢を大いに語る

1学年生が農業への想いや将来ビジョン等を発表する校内意見発表会を12月11日に開催しました。

発表した内容は、就農を目指す意気込みや将来の農業で地域活性化を図りたいなどの農業に対する思いや、農大生活で一回り成長した自己分析などでした。

今回の発表会は、1月に岐阜で開催する東海・近畿ブロック意見発表会の代表選考も兼ねており、「販売に力を入れた農家を目指して」を発表した、野菜・果樹学科 粉山雄太が代表に選ばれました。

オーストラリアに行ってきました

2学年生が11月14日~23日の10日間オーストラリア派遣学習に行ってきました。

今年は、学生が31人と大所帯。ほとんどの学生は海外初体験で、視察先やホームステイ先では、緊張の連続だったようですが、天候にも恵まれ、雄大な自然と農業を間近に見られ充実した研修になりました。

派遣中に何度かハプニングがあり、引率職員もハラハラしたようですが、無事帰国することができて、今ではよい笑い話になっています。



<写真:ホームステイ先とのお別れ会>

「すご〜い！」先進施設を視察

野菜・果樹学科の2学年生20名が12月6日に岐阜地域の園芸施設及び県農業試験場を視察しました。

野菜カット工場や水耕栽培、環境制御による生産等、最先端技術を用いて農産物が生産されている状況を見学しました。作業効率や植物の生理生態に考慮した施設に学生達は「すご〜い」を連発。県内にこのような先進施設があることに大変驚いていました。

大変内容の濃い校外学習になりました。



<写真:わかば農園さん視察風景>



<写真:福江営農の後藤さんから>

大きな農作業機にびっくり!

1学年生が西濃地域の農業機械の施設を12月14日に視察しました。西濃地域の大規模で農業機械を効率的に利用した営農スタイルを視察。農大とは比べものにならない施設の大きさに驚いていました。

特に、農大の先輩である福江営農さんにあった「人の背丈よりも大きなタイヤを持つトラクタ」にはあっけにとられたようです。

「こんなトラクタに乗りて〜えな」とつぶやいている学生もいました。

😊 農大ブランド紹介 😊

「KOIDOメロン」

皆さんは「KOIDOメロン」を知っていますか？ 実は、農大にはとびきりおいしいメロンがあります。

直売場で販売すると「どれが一番おいしいの？」と毎回聞かれますが、「どれも甘くておいし〜い」と説明して買っています。お客さんからは「とてもおいしかった」や「丁度いい甘さで気に入った」と、とても好評でした。

次回は7月下旬の販売を予定しています。

将来は実家でKOIDOメロンを栽培して、全国に広めたいです。



<写真:KOIDOメロンと小井戸>

春里トピックス

高校生を受け入れました

農大では視察や体験学習を受け入れています。

1学期は、小学生の遠足や社会見学が多く、2学期は、中学生の職業体験や高校生の視察を多く受け入れています。

今回は岐阜農林高校や加茂農林高校の生徒を受け入れました。



岐阜農林校の生徒には農大で取り組むプロジェクト学習の成果を、学生がパワーポイントを使って紹介しました。



加茂農林高校の生徒には「いちごの花芽分化の確認方法」を講義した後に、実際に学生とともに検鏡しました。



オリジナルパーカーが完成

学生がデザインした黒のパーカーができました。

背にはトラクタに乗った農夫！ちょっとかっこいいです。

校長のひとこと

農大では、穏やかに平成25年を迎えることができました。今年で本校は八十周年目を迎えることとなります。現在、一年生26名、二年生31名が学んでおり、「農業に興味があり、将来、農業を志す学生・農業指導者をめざす学生等を対象に、農業の実践教育を二年間行い、個々の学生の夢をお手伝いする学校」ということで、「実践教育」「少数濃密指導」「全寮制教育」「派遣学習の実施」を基本方針としています。今回はこの基本方針の一環として、学生たちが学習にチャレンジしてきた9月から12月までの報告会・発表会・視察などを紹介します。そして、学生が自ら挑戦・継続・創造することにより、一回りも二回りも成長していると実感しています。今後とも、皆様方の農大・農大生への応援をよろしくお願いいたします。

編集後記

最近、農大卒業生が多く訪ねてくれます。農業をやっている者、会社で働いている者。様々な現場で頑張っている話を聞かせてくれて、大変頼もしく思う日々です。これからも、卒業生が集まってくれる学校であるよう頑張らなくちゃ！！